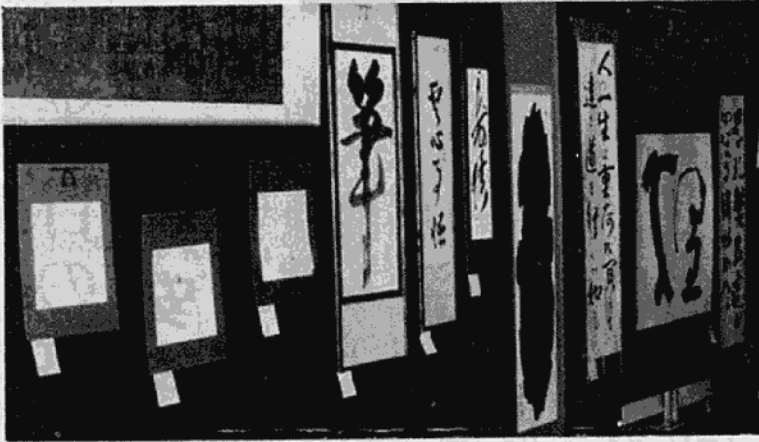


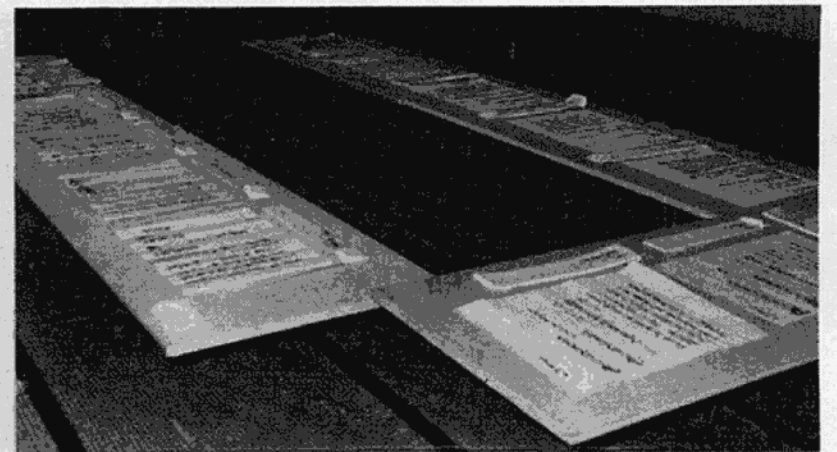
広報車寄贈

十一月十日、東京海上火災から広報車が寄贈されました。寄贈された新車は一四〇〇ccのライトバンで、色はクリーム色です。現在ある二台の広報車と共に、活躍が期待されます。

広報車前での引渡式



総合会館と中央公民館に多くの作品が展示され、盛況に終わった文化祭



御幸町古文書の虫干し

日光市の貴重な文化財「御幸町古文書」の年一回の虫干しが、十

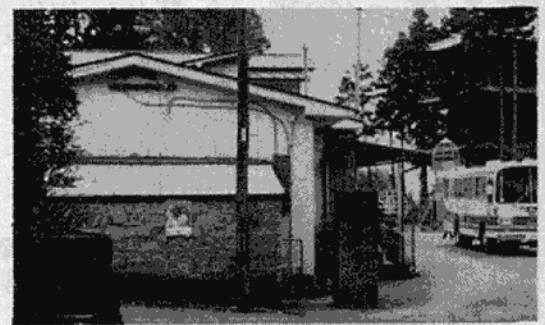
一月十五日にありました。この古文書は、江戸時代の日光山歴代貫主から、御幸町に下付された、諸役免除などの証文で、天海大僧正自筆のものを含めて十四通が残されています。

古文書の虫干し

文化祭

日光市文化祭が十月二十九日から三日間、総合会館、中央公民館、東照宮研修会館で開かれました。絵画や写真などの展示物は、六百四十二点が展示され圧巻でした。民謡などの催し物には延二百四十八人が出演し、内容も充実して大変好評でした。最終日の「市内学校音楽会」も、日頃の練習の成果を十分発揮し盛会でした。

現在の山内幼稚園



地への義捐金品は、日光町から六千六百五十八円九十五銭、白米八石二斗二升、梅干八百匁、かんづめ五十八個、ぞうり五百足、手拭い百七十本、小来川村から二百六円三十銭、白米三石九斗、愛国婦人会処女会から、衣類百五十四点が送られたと記録されている。

①日光御猟場の廃止（大正12年12月）
明治17年宮内省が設けた日光御猟場は、この年に廃止された。

農林省は、引続き鹿の特殊猟場として保存するため、大正15年9月14日、狩猟法第十四条で、日光猟区を設定し、国営猟区事務所を日光町に設けた。

猟区は、東の赤薙山麓から、西の白根山東麓におよび、日光連山を包含して、その面積は、一万五千町歩（一四八・七六平方キロ）にもおよんだ。参考までに現在の日光の総面積は、三二〇・八九平方キロである。

②幸の湖機船遊覧船運開始（大正13年4月）

大正7年、輪王寺が大株主、日光の近藤金次郎が社長となって、会社を組織し外人観光客を対象に営業を始めたが、約三年で営業不振により解散した。大正11年に前記近藤氏からボート四隻を譲り受け、中宮祠渡船モーターボート組合を作る。

その後、会社組織になり、名称を「高山探勝モーターボート会社」と変え、更に幸の湖機船会社となった。
現在は、中禅寺湖機船株式会社となり、中禅寺湖遊覧に活躍している。

現在の中禅寺湖機船

